

墨書土器について

平安時代の土器の中で、土器に漢字や記号のようなものが^{すみ}墨書^がきされたものを墨書土器と呼びます。今回の調査では8号^{たて}竪穴^{あな}建物跡^{たてものあと}から多く発見されおり、特に、8号竪穴建物跡の南壁付近に集中して出土する特徴がありました。

墨書の文字には^{ぎょうにんべん}行人偏とすると「得」と連想されるものが1点あり、そのほか判読不明のものがあります。